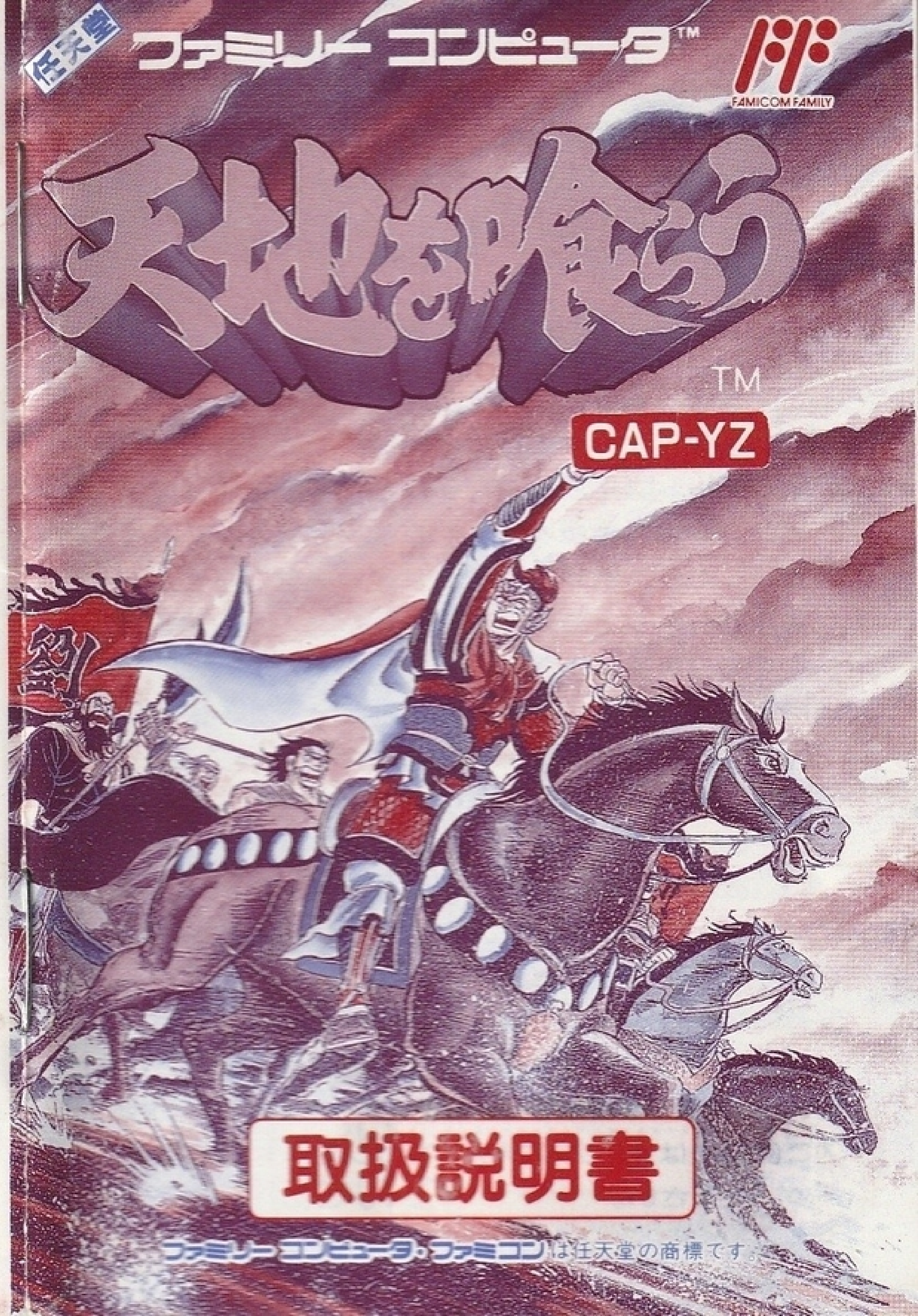
天地を喰らう

CAPCOM®

©本宮ひろ志©本宮企画©集英社©カプコン



このたびは、「天地を喰らう」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用前にこの"取扱説明書"をよく読んで正しい方法でご愛用ください。また、この取扱説明書は大切に保管してください。

～～～～～～ 使用上の注意 ～～～～～～

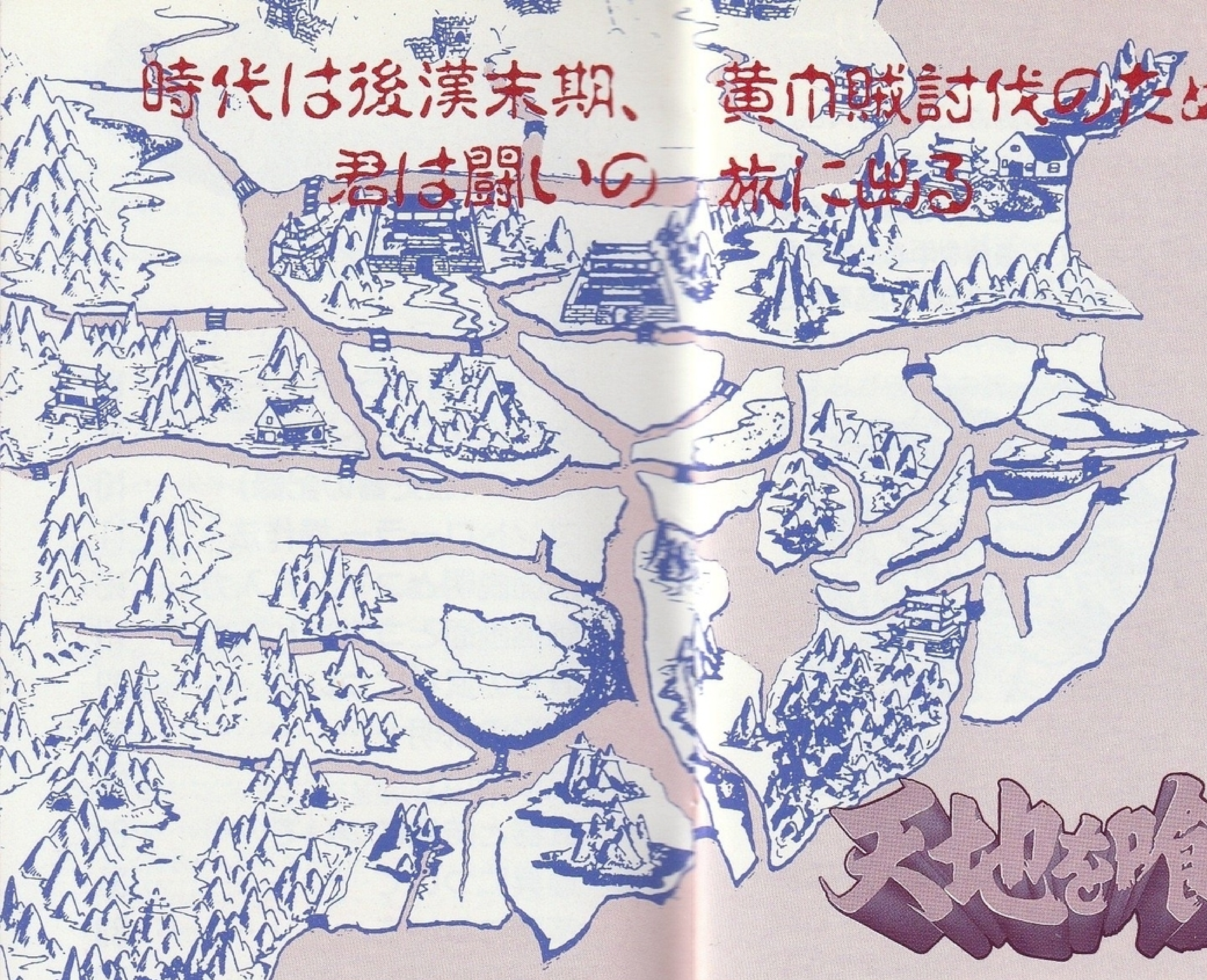
⑴このカセットは、電池によってデータが保存されています。データの保存を確実にするために、必ずリセットスイッチを押しながら電源を切って下さい。本体の電源を入れたままでカセットを抜き差ししたり、むやみに電源スイッチをON･OFFすると、保存されているデータが消えてしまうことがあります。
⑵精密機械ですので、極端な温度条件下での使用や保管、および強いショックを避けてください。また、絶対に分解はしないでください。
⑶端子部に手を触れたり、水でぬらさないでください。故障の原因となります。
⑷シンナー、ベンジン、アルコールなどの揮発油ではふかないでください。
⑸長時間ゲームをする時は健康のため約２時間ごとに10分～15分の小休止をしてください。
⑹テレビ画面から出来るだけ離れてゲームをして下さい。
⑺ご使用後はACアダプターをコンセントから必ずぬいて下さい。

天地を喰らう

もくじ

全体マップ……………………4
「天地を喰らう」ストーリー…6
ゲームスタート………………8
セーブ（歴史書の記録）………10
コントローラー 操作法………11
画面説明とコマンド入力……12
戦闘画面とコマンド入力……19
味方の武将について…………22
地形の説明……………………24
店について……………………26
武器と防具について…………28
道具について…………………31
策略について…………………33
ゲームヒント…………………39

時代は後漢末期、黄巾賊討伐のため
君は闘いの旅に出る



天地を喰らう

「天地を喰らう」ストーリー

激しい戦火の中、三人の男が立ち上った。

時は後漢(昔の中国の王朝)、今から約1800年ほども昔、建寧元年のことです。力の弱まった後漢王朝の打倒をめざして、張角を中心に髪を黄色い巾でたばねた「黄巾賊」が各地で内乱を起こしました。

人々は不安と恐怖の中、「いつか誰かがこの乱れた世の中を立て直してくれるにちがいない」。
そう願いながら毎日を送っていました…。
こういう時代を背景に、この乱れた世の中を救おうと三人の男達がたち上りました。
一人は、前漢景帝の血をひく劉備玄徳、そして

劉備の国を想う心にひかれ義兄弟の契りを交わしたいずれ劣らぬ猛将関羽雲長と張飛翼徳。

三人は正義の心に燃え、平和の世を取り戻すために立ち上がり、同じ志を持つ武将を仲間に加えながら「黄巾賊」に戦いを挑みます。激しい戦闘の末、ついに劉備軍は張角を討ちとりますが、これで乱世が終ったわけではなかったのです。これから先、劉備軍にどんな戦いが待ちうけているのでしょう。それはあなたがその目で確めて下さい。

「生れし月日はことなれど、願わくば同年同月同日に死することを望まん！」
これを桃園の誓いといいます。

ゲームスタート！

いよいよ冒険の始まりです。よく読んでスタートして下さい。

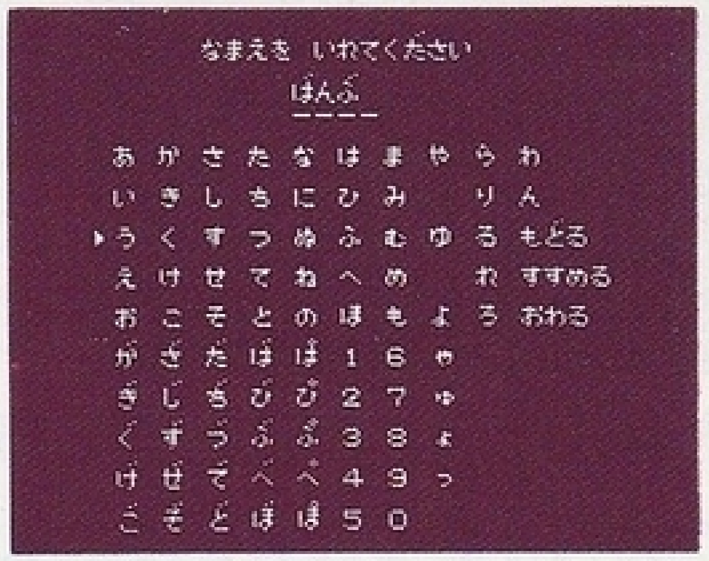
ファミリーコンピュータに「天地を喰らう」のカセットを正しくセットし、スイッチを入れるとタイトル画面が表示されます。この画面が出たらコントローラーのスタートボタンを押してコマンド表示窓を呼び出して下さい。✚レバーで▶を上下させてコマンドを選び、Ⓐボタンを押して実行して下さい。

●げーむをはじめる

前回ゲームを記録した所からゲームを始めることができます。記録されている「れきししょ」の中からはじめたいものを▶で選んで下さい。この時にメッセージ表示スピードを変えることができます。（はじめてゲームをする時は「れきししょをとうろくする」としか表示されません。）

●れきししょをとうろくする

４文字までの名前で「れきししょ」をつくり、その中にゲームの途中経過（とちゅうけいか）を記録（セーブ）しておきます。３つの歴史書のうち使用したい番号を決定してから名前を入力します。✚で▶を移動させて文字を選び、Ⓐボタンで入力します。すべて入力しおわったら▶で「おわる」を選択するか、スタートボタンを押して下さい。



●れきししょをけす

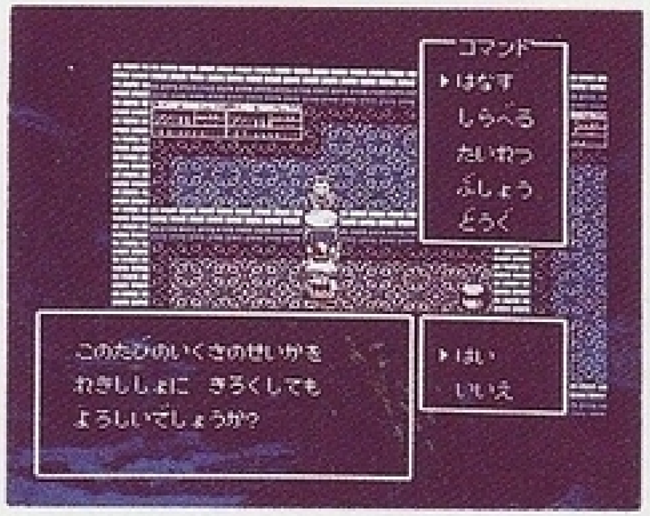
新しい歴史書をつくる時など、いらなくなった歴史書を消す時に使います。▶で消したい歴史書を選びⒶボタンを押します。

●れきししょのこぴー

歴史書を別の歴史書に写し、それまでのものを保存することができます。（ただし、白紙の歴史書がない場合は写すことができません。）

セーブ(歴史書の記録)

このゲームには、途中経過(とちゅうけいか)を記録しておくバックアップ機能があります。長い闘いにつかれたら歴史書に今までの成果を記録して休みましょう。



記録は城の中にいる史書官の所でおこないます。城に入ったらまず史書官を探しましょう。

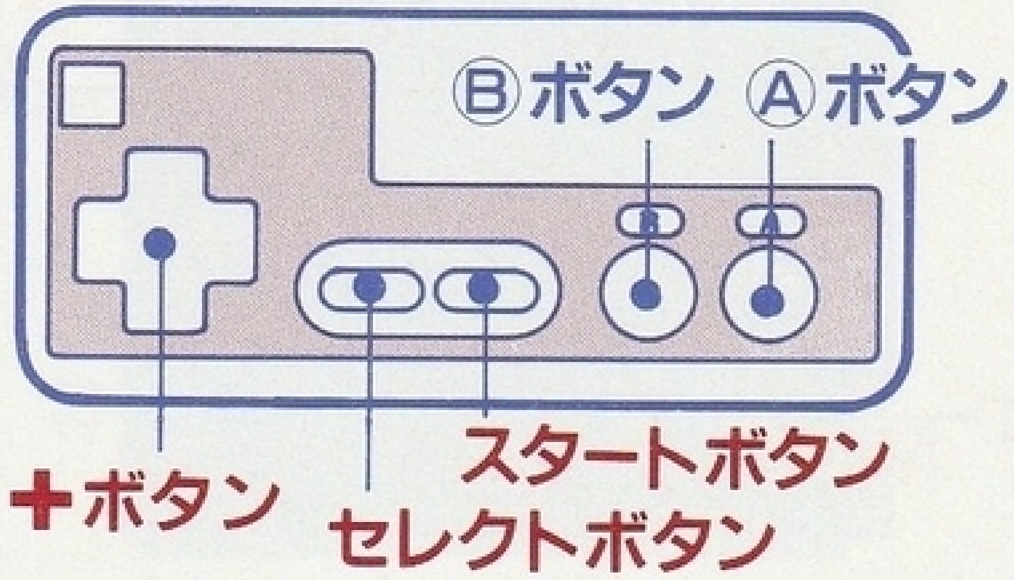
史書官と話したら画面の右下にコマンド表示窓が現れ、「きろく」「よぶ」と表示されますから▶を「きろく」の方に移動してⒶボタンを押して下さい。史書官はまちがいのないようにもう一度念を押す意味で、「はい」「いいえ」のうちどちらかで返答して下さい、と聞いてきますから記録するあなたは、「はい」と大きな声で答えて下さい。

注 意

記録後ゲームをやめる場合は、必ずリセットスイッチを押しながら電源を切ってください。押し忘れると、歴史書が消えることがあります。

コントローラー操作法

まずはコントローラの使い方をマスターしよう。



●✚ボタン
劉備軍を上下左右に移動させます。また、コマンド入力時はコマンド表示窓の▶を上下左右に移動させることができます。

●セレクトボタン
ゲーム中に押すとサブ画面にかわります。詳しいことは13ページに書いてあります。

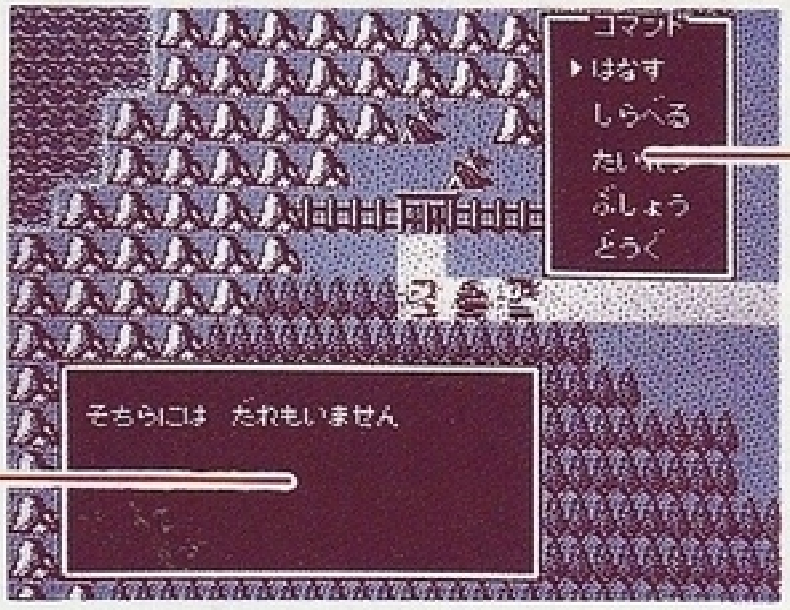
●スタートボタン
ゲーム開始に使用します。

●Ⓐボタン
このボタンを押すとコマンド表示窓が現われ、コマンド入力ができます。✚で▶を好きなコマンドにあわせてⒶボタンを押して下さい。

●Ⓑボタン
コマンド入力をキャンセルする時に押します。

移動時の画面

劉備軍を指揮するのはあなたです。



画面中央にいるのはあなたが操作する劉備軍の将軍たちです。

①メッセージ表示窓

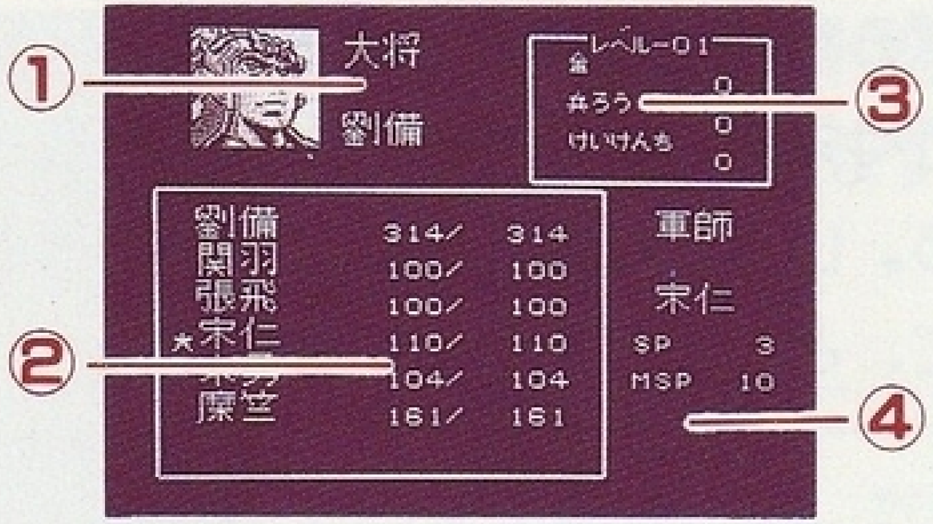
人との会話や周囲の状況などがメッセージとして表示されます。▼が点滅している時はⒶボタンを押して下さい。メッセージの続きが出ます。

②コマンド表示窓

移動中、Ⓐボタンを押すとコマンド表示窓が出現します。▶であなたのやりたいコマンドを選び、もう一度Ⓐボタンを押して実行します。(Ⓑボタンを押すとキャンセルされます。)

サブ画面

セレクトボタンを押すと、現在の劉備軍の状態がわかります。



① 劉備軍の大将

現在、劉備軍の先頭に立つ武将の名前と顔が表示されます。「たいれつ」の先頭に立っている武将が劉備軍の大将となります。

② 移動中の劉備軍

大将以下の武将の名前が表示されます。
右側の数字はそれぞれの武将が持つ兵士数を表します。(現在の兵士数／最大兵士数)
一度に７名の武将が移動できますが、戦闘に参加するのは先頭から５番目までの武将です。☆マークのついた軍師は、６名以上武将がいれば戦闘には参加しませんが、５名以下になると人数不足のため自らも武器をとって闘います。

③劉備軍のレベル

— レベル

劉備軍の強さを数字で表します。レベルが上がればそれだけ劉備軍の強さも天下に知れわたり、行く先々で平和を望む人々に歓迎されるでしょう。レベルは敵と闘い、経験を積むことによって、どんどん上っていきます。

— 金

劉備軍の持っているお金です。武器や防具、兵ろうや道具、武将におくる品物等々、よく考えて使いましょう。

— 兵ろう(ひょうろう)

劉備軍全員の食糧です。これが無くなると兵士たちが腹ぺこで戦闘できなくなります。いつも残りを気にして買い足しておいて下さい。

— けいけんち

敵を倒すと、倒した敵の強さによって何ポイントかの経験値が得られます。経験値が増えるにつれて レベルは上っていきます。

④軍師と策略ポイント

軍師については33ページに書いてあります。

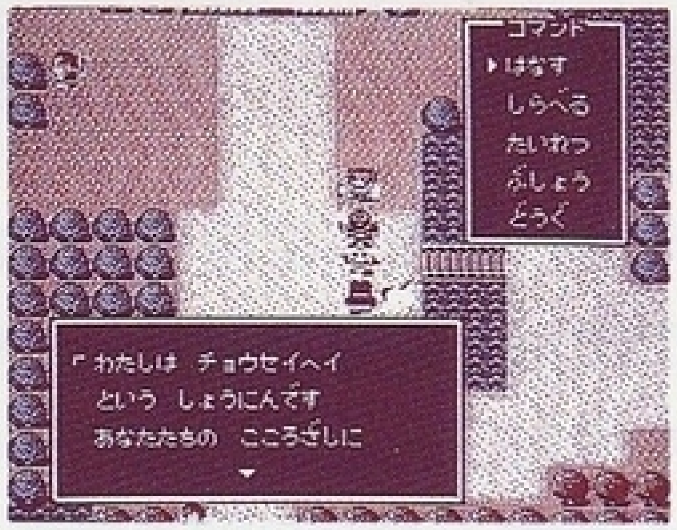
移動時のコマンド入力

コマンドをうまくつかうことが平和への早道

✚ボタンでコマンドを選び、Ⓐボタンで実行します。

●はなす

人と話したい時にこのコマンドを使います。話したい人の方を向き、ピッタリとその人にくっついてⒶボタンを押すとメッセージ表示窓が現れて会話ができます。店などではカウンターごしに話しかけて下さい。



●しらべる

このコマンドは、先頭の武将が自分の足もとをしらべるものです。宝箱をみつけた時は、先頭の武将を上におき、このコマンドを実行すれば宝箱が開き、中のものをとることができます。

●たいれつ

移動中の武将のならぶ順番を変えたり、軍師を選んだりするコマンドです。

●ならび

▶でこのコマンドを選びⒶボタンを押すと現在の武将のならび順が画面左に表示されます。

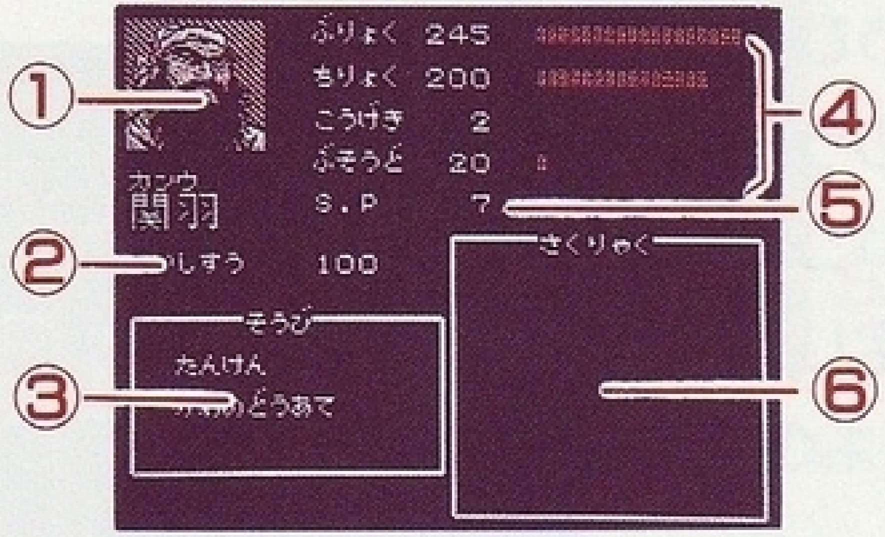
▶を先頭にしたい武将の所へ移動させてⒶボタンを押します。今、選んだ名前が中央の新しい順を示す表示窓に入りますから、これを2番、3番とくり返して新しい隊列をつくって下さい。

●ぐんし

このコマンドは策略をつかう軍師を隊列の中から選んで決定するものです。画面左に表示される武将の中から一人を選び、▶を移動Ⓐボタンを押して下さい。「☆」のマークが名前の左側に付きます。これが軍師になったことを示すマークです。

●ぶしょう

このコマンドは現在移動中の劉備軍の武将、個人別能力データを見るためのものです。



①その武将の名前と顔です。

②現在その武将が持てる最大兵士数です。もちろん強い武将ほど多くの兵をもつことになります。

③その武将が現在身につけている武器や防具が表示されます。高い武器や防具はそれだけ攻撃力や防御力が上がります。

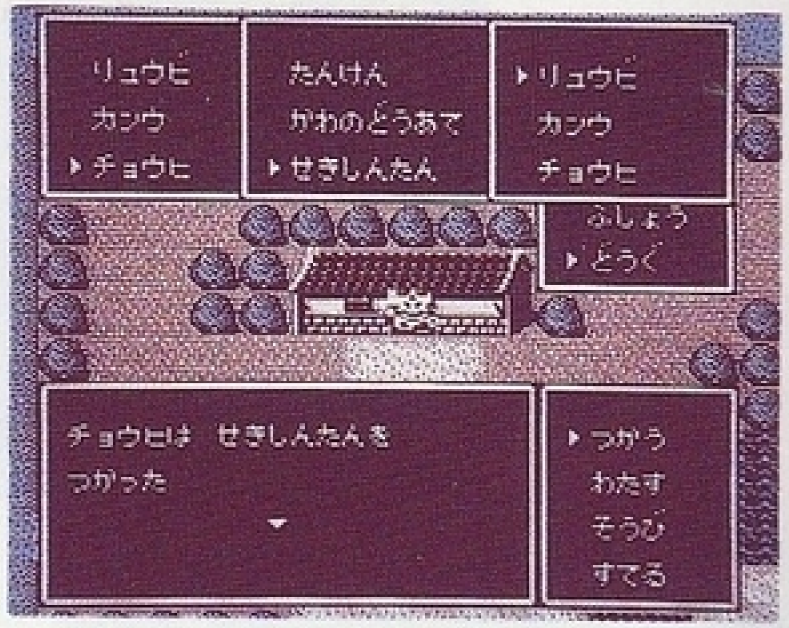
④武将のもつ「武力」「知力」「攻撃力」「武装度」のデータをグラフと数字で表示しています。

⑤この武将がもつ策略ポイントです。知力の高い武将ほどポイントが大きくなります。

⑥その武将が覚えている策略が表示されます。

●どうぐ

このコマンドを選び、武将の名前を▶で選ぶとその武将のもつ道具リストが表示されます。
次にどの道具にするか▶で選び、「つかう」「わたす」「そうび」「すてる」のうち実行したいコマンドを決定して下さい。



つかう

手に入れた道具を使うことができます。

わたす

仲間の武将に、持っている道具を渡したい時に使用します。

そうび

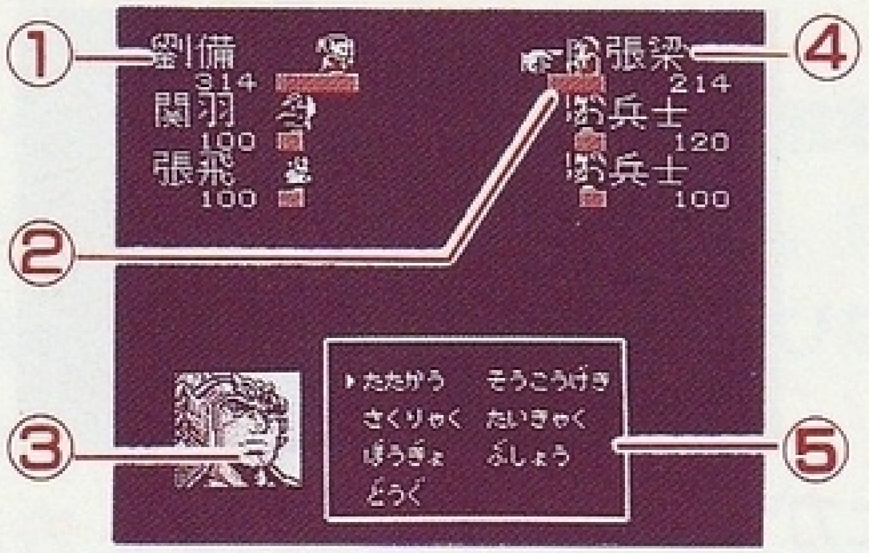
武器や防具は持ち歩いているだけでは役にたちません。このコマンドで装備して下さい。

すてる

いらない道具を捨てます。
捨ててしまうと、拾うことはできません。

戦闘画面とコマンド入力

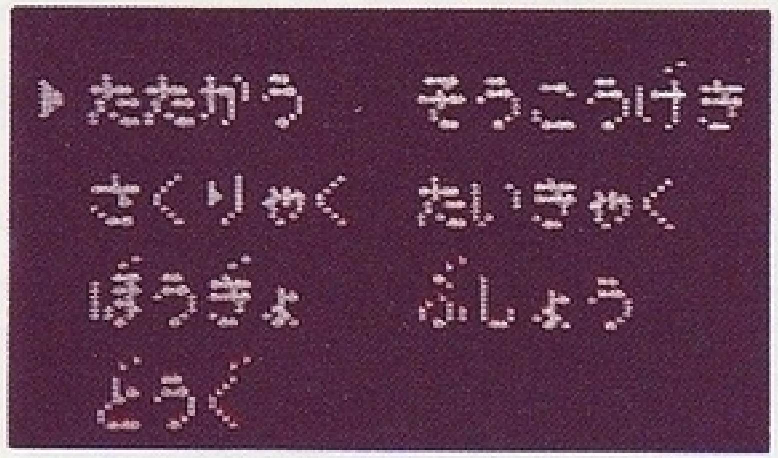
次々に現れる逆賊や盗賊の群、また群…。



移動中、敵と出会うと自動的に上のような戦闘シーンに変わります。

①この戦闘に加わった武将の名前とそのキャラクター、そして残りの兵士数が数字とグラフで表示されています。この兵士数が0になるとその武将は倒れたことになります。
②攻撃や策略を仕掛けるとき、どの敵に仕掛けるかを決めるカーソルです。
③戦闘中の武将の顔が表示されます。
④敵の名と残りの兵士数です。名のある武将などは名前が表示されますが、そうでない時は兵士、盗賊などと通行人Aの様な扱いになります。
⑤戦闘の為のコマンド表示窓です。▶をあわせてⒶボタンで決定して下さい。

闘いは命がけ。
生きるも死ぬもコマンド次第。



●たたかう

☞で攻撃する相手を指定します。１度の入力につき１人を攻撃できます。

●さくりゃく

だれかを軍師にしていればその軍師が覚えている策略を戦闘中の各武将も使えます。使えるのは軍師が覚えている策略だけですから軍師にするのはなるべく強力な策略を覚えている武将にしましょう。このコマンドを選ぶと、策略のリストが表示されます。▶で仕掛ける策略を選んでⒶボタン。次に誰に仕掛けるかを☞で指定して下さい。S.P(策略ポイント)が不足すると策略は使えなくなります。

●ぼうぎょ

このコマンドを選んだターンは攻撃せずじっと

敵の攻撃から身を守っています。 これである程度のダメージは防ぐことができます。

●そうこうげき

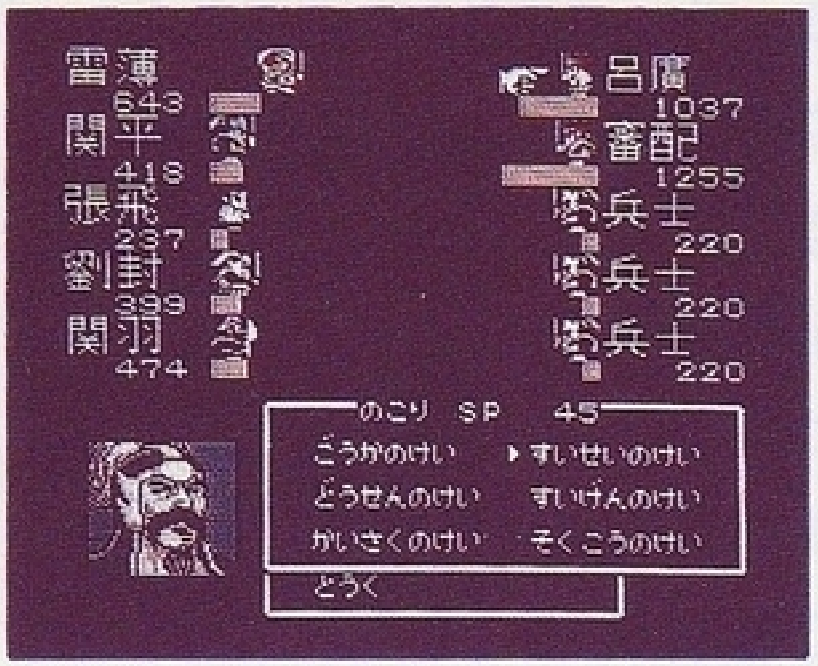
全員が一斉に攻撃を仕掛け、自軍か敵軍かどちらかが全滅するまで闘いつづけます。Ⓑボタンで一時戦闘を中断してコマンドを選びなおすこともできます。

●たいきゃく

味方が不利な時などは無理をせず、このコマンドで逃げるようにしましょう。ただし、いつも逃げられるとは限りません。

●ぶしょう

このコマンドでは敵の武将や兵士の能力を見ることができます。



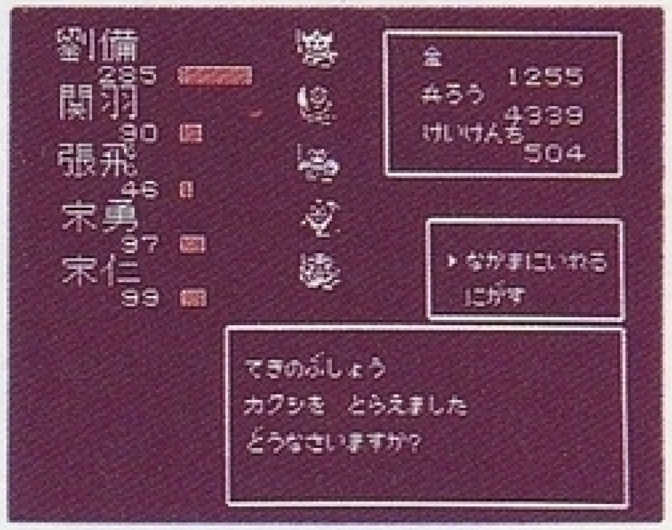
味方の武将

町や城、そして闘いの中から同志を集めて下さい。

村や城や戦闘で出会った武将を味方にひき入れ劉備軍を強く大きくしていくことができます。武力や知力の高い武将を仲間にひき入れて、劉備軍をどんどん成長させて下さい。

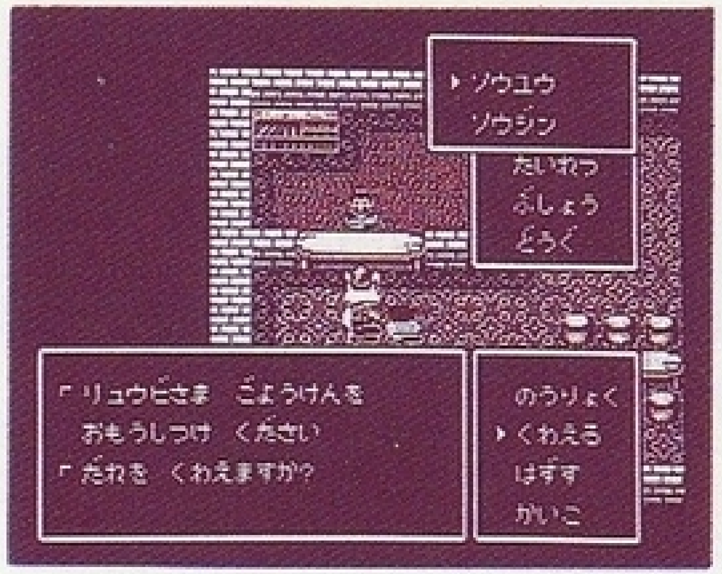
村人や城の人との会話では、情報を聞けるだけでなく、話が合う武将がいれば味方にすることもできます。

また、今まで敵として戦ってきた武将が戦闘のあとで心を入れかえて、劉備軍に加わることがあります。昨日の敵は今日の戦友、高い武力や高い知力の武将を味方にすれば、攻撃や策略の効果もそれだけ強力になってきます。どんな武将に出会えるでしょうか。



編成所でメンバーチェンジができる。

続々と味方を増やして大きくなっていく劉備軍。その中で移動できるのは、あなたが選んだ7人の武将です。あなたの作戦に最も適した武将を選んで下さい（画面に出るのは先頭の3人までです）。「へんせい所」は城の中にあります。



▶でコマンドを選び、Ⓐボタンで実行します。

●のうりょく

「へんせい所」に登録されている武将全員のデータを見ることができます。

●くわえる

新しい武将を「たいれつ」に加えます。

●はずす

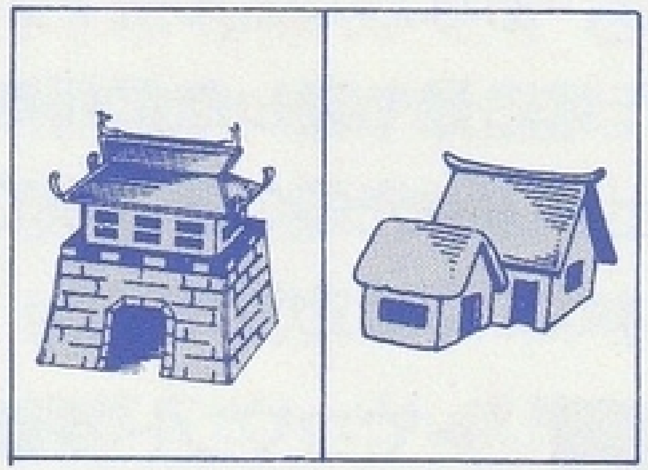
「たいれつ」から武将をはずすコマンドです。

●かいこ

劉備軍が必要としなくなった武将と、さよならするためのコマンドです。せめて涙で送ってやりましょう。

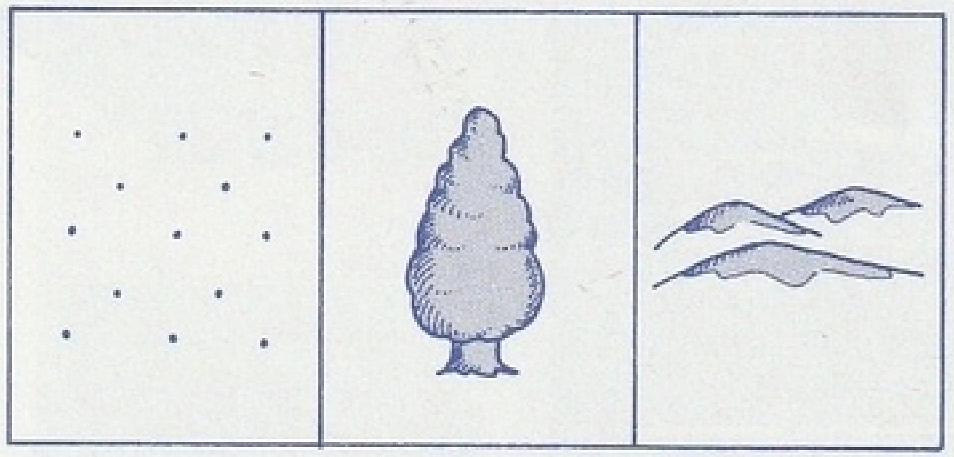
地形の説明

広大な中国大陸を冒険します。



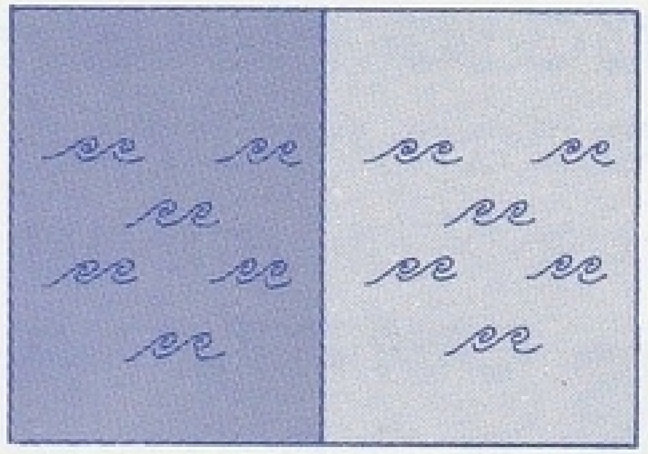
(城、村)

中にはさまざまな人がくらしています。お店や宿屋などもあります。



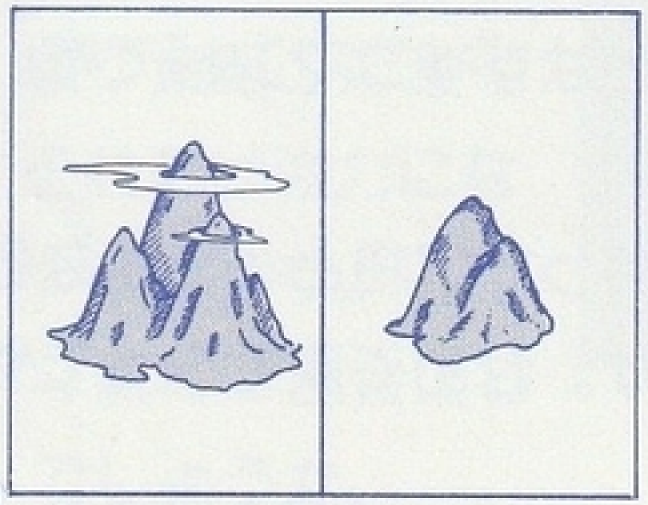
(草原、木、丘)

普通に歩くことができます。



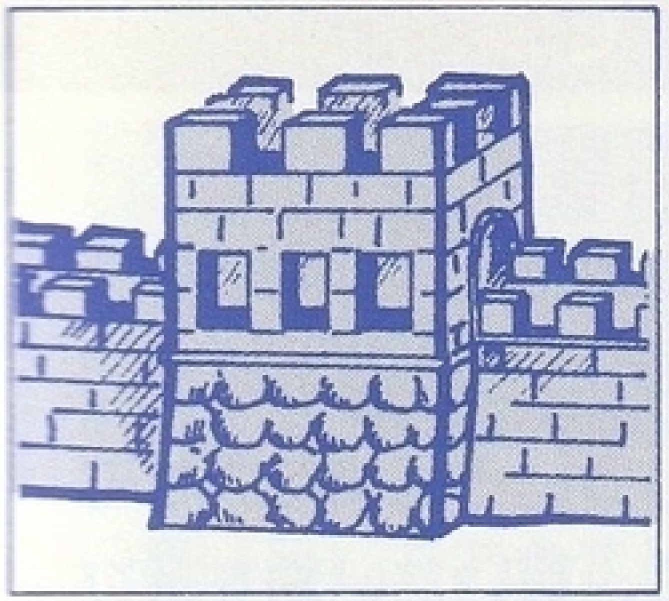
(海、川)

どちらにも入ることができません。流れがきついので、　泳ぐのはやめましょう。



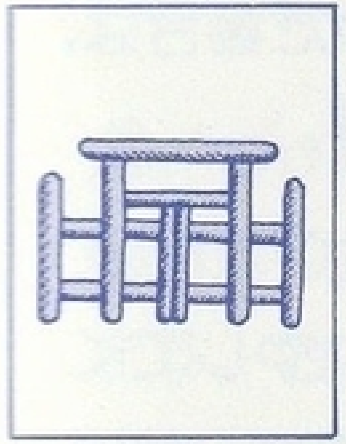
(高い山、低い山)

どちらも上を歩くことができません。歩ける道を探してください。



(万里の長城)

これより北へは進めません。東から西へ気が遠くなる程の城壁です。誰が建てたのかは自分で調べてみて下さい。

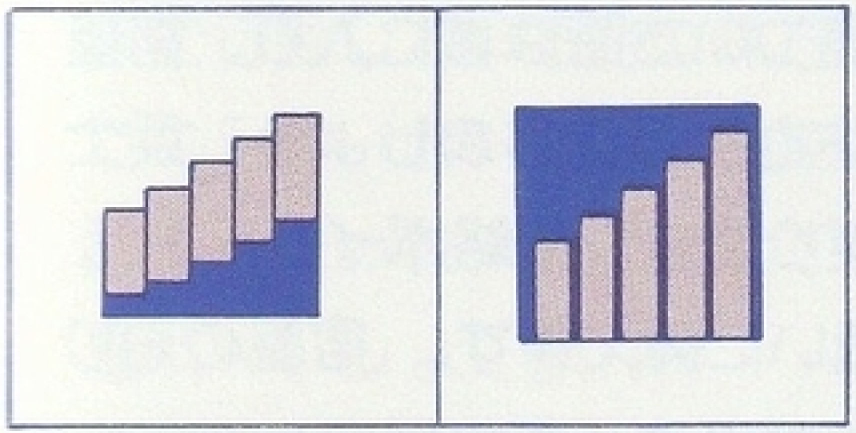


(とりで)

武将たちの基地です。要所を守っています。

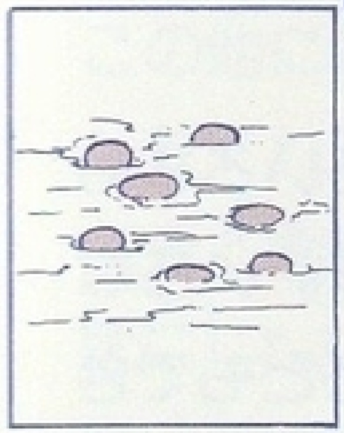
(どうくつ)

上に乗ると中に入れます。



(かいだん)

昇り、降りとも上に乗ると自動的に移動できます。



(わなの沼)

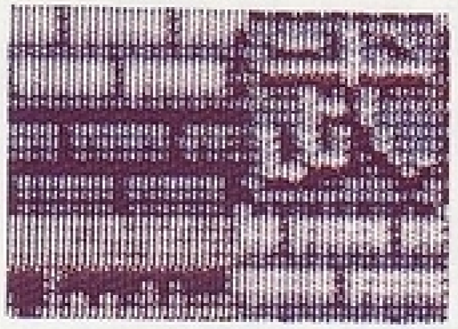
毒がまいてあり、歩くと兵士が倒れていきます。

(たからばこ)

上に乗って「しらべる」で開けられます。

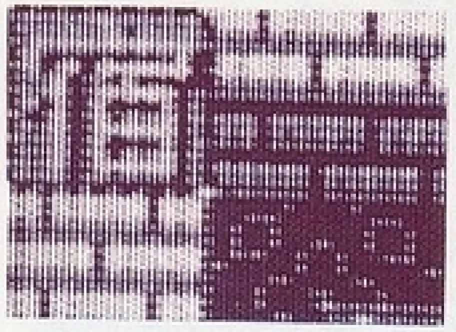
店について

●ぶきや(武器屋)



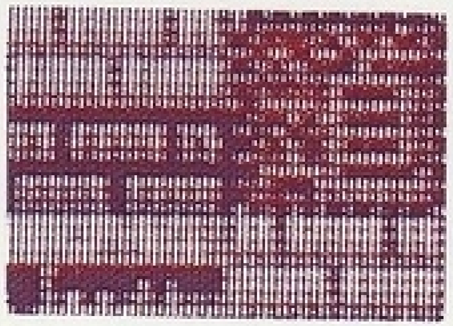
さまざまな武器と　防具を売っている店です。店の主人に話しかけるといろいろ品物を見せてくれるので、買いたい物を選びましょう。見て買いたいものがなかった場合は、Ⓑボタンを押すとキャンセルできます。

●やどや(宿屋)



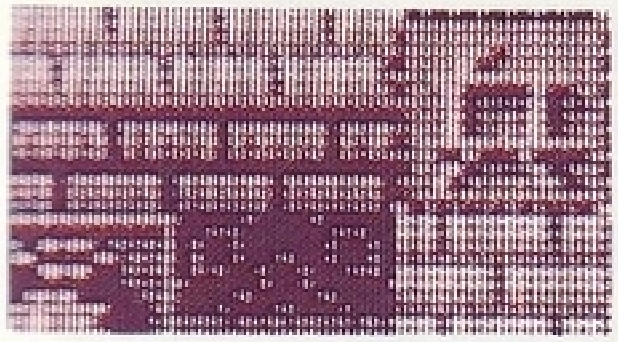
戦いや旅のつかれをいやしてくれる所、それが宿屋です。戦いで傷ついた時は城に入り、宿屋で休むようにしましょう。兵士全員の体力が元に戻ります。策略ポイントも元に戻り明日からの戦いに備えます。 宿屋の泊り賃は場所と武将の人数によってちがいます。

●どうぐや(道具屋)



薬や贈りものなどいろいろなものを売っている店です。いらなくなった品物を売ることもできます。

●ひょうろうや(兵糧屋)



戦闘や旅のあいだに劉備軍全員が使う兵糧を買う所です。兵糧の残りはマメにチェックしていつも買い足しておきましょう。
腹が減ってはゲームもできませんよ。

●へんせいじょ(編成所)

劉備軍の武将の能力データがすべてそろっています。ここへ来れば武将を「たいれつ」から外したり、新しく加えたりできます。劉備軍が7人で行動している時に味方になった武将は１度この「へんせいじょ」へ送られますから、あらためて「たいれつ」に加えてやってください。

●やくしょ(役所)

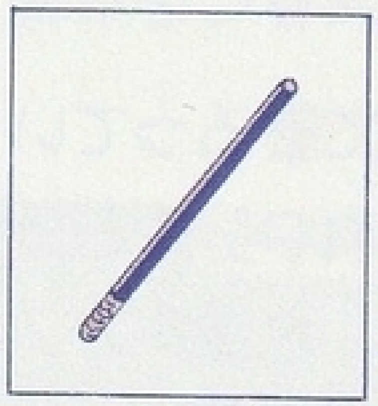
ここは主に「れきししょ」の記録をする所です。この他には、城主になった劉備をその宮殿に呼んでくれる仕事もしています。なにかの事件が起きて劉備に来てほしい時などは中にいる史書官に「よぶ」コマンドでお願いしてみて下さい。すぐに劉備様は駆けつけてくれます。

武器と防具の説明

武器や防具は、ただ持ち歩いているだけでは役に立ちません。「そうび」コマンドで必要なものを身につけて下さい（現在身につけているものには＊マークがつきます）。

〈武器〉

●こんぼう（棍棒）

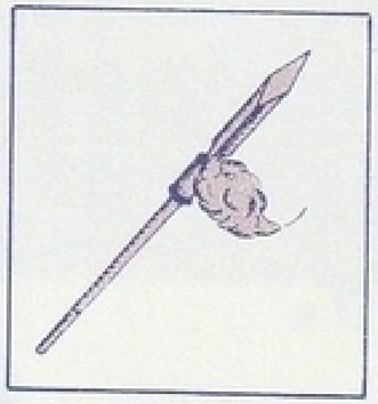


木をけずってつくった一番初歩的な武器ですがゲームのはじめには重要な武器となって助けてくれます。

●おの（斧）

木を切る道具ですが、戦国の世では強力な武器として使われます。

●やり（槍）

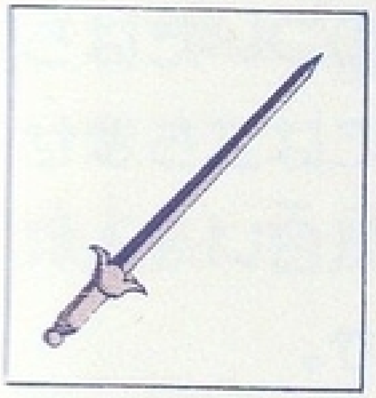


敵との距離をあけて　戦うことのできる武器なので、かなりの効果が期待できます。

●みつまた（三つ叉）

槍の先が三つにわかれていて見るからに痛そうな武器。古い武者絵でよく見かける豪傑好みのする武器です。

●けん（剣）



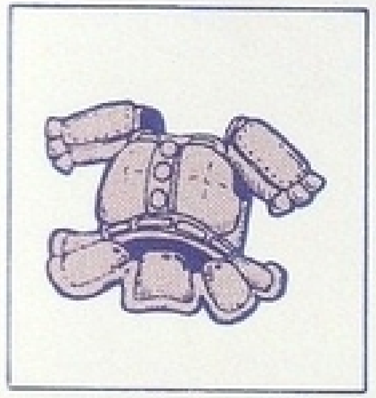
槍より短かい武器ですが、扱いやすい分有利かもしれません。この武器の何よりの特長はその切れ味です。

〈防具〉

●かわのどうまき

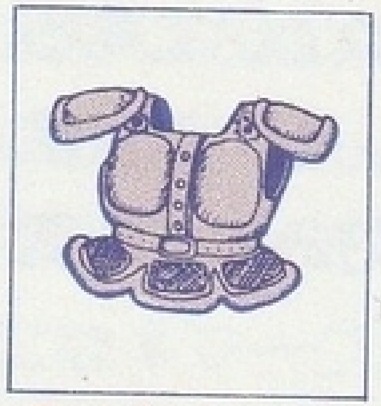
なめし皮をにかわで固めて作った戦闘用の服です。安くてある程度強いので入門用の防具です。

●どうのよろい（銅の鎧）



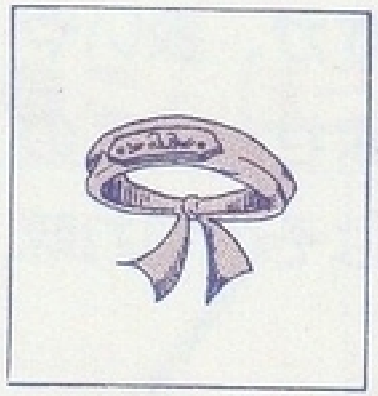
かわでできたものよりも丈夫です。少し重いのが欠点ですが、命の重さにはかえられません。

●てつのよろい(鉄の鎧)



鋼鉄(こうてつ)を加工した部分を組みあげたきわめて強力、堅固なよろいです。ぜひ、1つは手に入れたいものですね。

●はちまき



おでこの部分に鉄板のついたはちまきです。あまり役には立ちませんが、これをしめて気合いを入れるのはどうでしょうか。

●どうのかぶと(銅の兜)

銅でできたヘルメットです。
頭に飛んできた矢など、これが防いでくれます。

武器や防具はこのほかにもたくさんあります。あちこちの店をのぞいてみましょう。中には掘り出しものがあるかもしれませんよ。

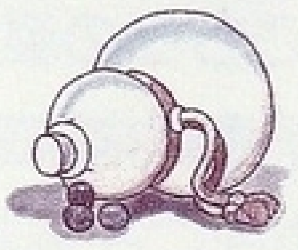
道　具

うまく使いこなせれば立派な武将だ。

●せきしんたん(赤心丹)

戦闘で傷ついた兵士を立ち直らせて、もう一度闘えるようにする薬です。

●しょうこんたん(招魂丹)



どんなに重い病気でも治してしまう薬です。闘いで倒れてしまった武将に使ってみて下さい。

●かいしんたん(会心丹)

この薬をひとつぶ飲むと、体中に力がみなぎり、普段では考えられないようなパワーで闘うことができます。

●しんこうのふだ(神行の札)

この札を天高くかかげるとどこからかつむじ風がおこり、その風にのって、今までに行った城の中から好きな城を選んで行くことができます。

●まもりのけむり(守りの煙り)

この不思議な煙は自分の周囲をつつみこんでしまうので敵からはこちらの姿が見えなくなり、闘わずに移動ができます。

準備は整った！
いざ出発

策略の説明

武将のだれかを軍師にしていれば、戦闘時に策略を使うことができます。でも策略ポイントがなくなると策略が使えなくなります。残りに気をつけて使って下さい。策略ポイント(ＳＰ)は宿に泊まると回復します。

武将の中には他では見ることのできない特別な策略をもつものもいます。どんな策略かはその武将を見つけ出し、味方にひき入れた時にわかることでしょう。

軍師の能力によってＳＰ（策略ポイント）は変化します。MSP（ＭＡＸ策略ポイント）は本来劉備軍のもつ最大の策略ポイントですが、軍師の知力が低ければ充分に使いきることができません。現在の軍師のもつ策略ポイントがＳＰとして表示されます。

策略には火計、水計、回復、防御、特別な策略の５種類があります。戦況に応じてうまく使いわけて下さい。

●火計

火を使った攻撃です。しかし火を使うことから水源の近くでは効きめが弱いようです。

練火の計（効力：敵１人　SP２）

100人もの兵士を一度に倒すことができます。

業火の計（効力：敵１人　SP４）

練火の計の４倍の力で敵兵を炎につつみます。

炎熱の計（効力：敵全員　SP６）

古い兵書によるとこの計を用いれば50人の兵で3000人の兵を破ることができるそうです。

大熱の計（効力：敵１人　SP８）

鉄をも溶かす炎を一点に集中し、命中した周りのものをほとんど焼きつくします。

火神の計（効力：敵全員　SP12）

火の神だけが使える術として恐れられています。火計の中では最大最強のもので、その炎は遠く倭の国の空をも赤く染めます。

●水計

水を使った攻撃です。火計とは逆に水源がないと使用できません。

水途の計（効力：敵１人　SP３）

堤防をくずし、その水の流れで敵を押し流します。

水星の計（効力：敵１人　SP６）

水途の計の強力なもので、水の勢いは水途の計の約４倍にもなります。

水雷の計（効力：敵１人　SP８）

周辺の水流を一つにあつめ、その激流をもって大軍を押し流します。

洪水の計（効力：敵全員　SP12）

大雨などを利用して人工的に大洪水をおこし、敵全軍を水没させてしまいます。

水龍の計（効力：敵全員　SP15）

水を守る神龍を呼び起こし、天変地異を起こさせてその勢いで敵を潰す。攻撃の策略中、最も強力なものです。

●回復

これは兵士たちの傷をいやし、軍勢をととのえ、再び戦闘のできる状態に戻すものです。

赤心の計（効力：味方１人　SP３）

回復の策略のうち一番弱いものですが、軍勢がまだ弱いうちは大事な策略です。

銅仙の計（効力：味方１人　SP５）

兵士たちを力づける働きは赤心の計の５倍です。

銀仙の計（効力：味方全員　SP10）

全軍を赤心の計の10倍の力をもって立ち直らせます。

完復の計（効力：味方１人　SP10）

この計を授けられた武将の持つ兵士全員をもう一度完全に復活させることができます。

金仙の計（効力：味方全員　SP４）

銀仙の計のさらに強力な策略です。潰滅状態の軍もこの策略を使えば立て直せます。

●防御

防御は敵の策略を無効にしたり敵の攻撃をやわらげたりする策略です。

撃柔の計（効力：味方全員　SP５）

敵の攻撃を半減させる策略です。

火減の計（効力：味方全員　SP４）

敵の放った火計の効力を半減させます。

水減の計（効力：味方全員　SP３）

敵の放った水計の効力を半減させます。

撃免の計（効力：味方全員　SP７）

敵からの攻撃をすべてはね返すものです。

策免の計（効力：味方全員　SP17）

敵の策略をすべて無効にします。

●特別な策略

かぎられた武将以外覚えることができません。

城内の計（効力：敵全員　SP５）

城攻めの時に使用すると、城の守備力が低下します。

疑心の計（効力：敵１人　SP５）

敵の武将の心を惑わします。かかった敵将はしばらくの間、攻撃を手控えます。

離間の計（効力：敵１人　SP６）

敵将の仲を裂き、同志討ちをさせます。

奇襲の計（効力：味方1人　SP4）

すばやさが2倍になり、敵に先制攻撃をかけることができます。

解策の計（効力：敵全員　SP5）

敵が自軍に対して使用している策略をすべて無効にします。

暗殺の計（効力：敵1人　SP10）

刺客を放って敵将を戦闘不能になるまで傷つけます。傷ついた武将の兵士たちは戦意を失い退却します。

倍撃の計（効力：味方1人　SP10）

この計を授けられた武将の攻撃力が2倍になります。

伏兵の計（効力：味方1人　SP6）

伏兵を敵の背後にまわして2段攻撃を仕掛けることができます。

退路の計（効力：味方全員　SP5）

全滅の危機など、劉備軍のピンチに使用して下さい。確実に退却できます。

帰還の計（効力：味方全員　SP6）

劉備のいる城まで一瞬にして戻れるものです。

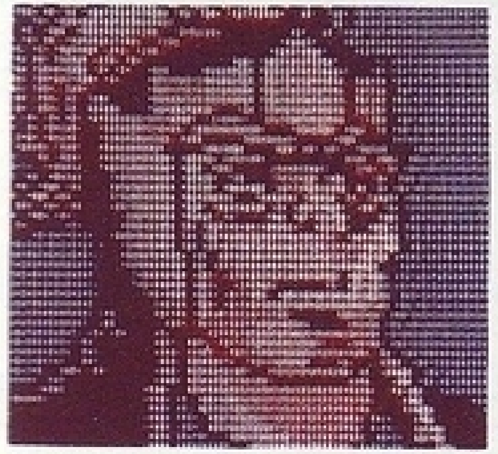
ゲームヒント

行き詰まったら読んでみて下さい。

●まずは西の城へ

自分たちの村を出たらまずは西にある陶謙様の城へ行ってみて下さい。まだかけだし武将のあなたたち劉備軍をあたたかく迎えてくれます。それから黄巾賊討伐に向うのですが、まずは北へ、そこには張角の弟、張梁の城があります。

●韓忠を探せ！



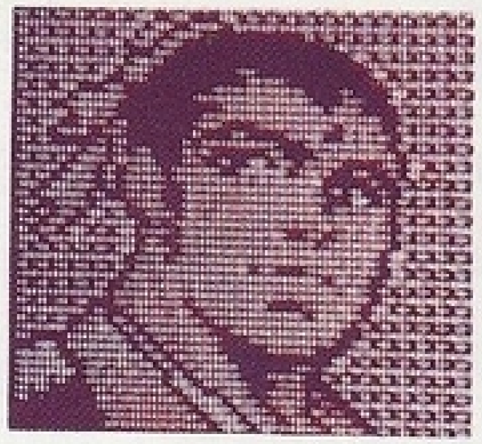
ゲームの途中、あなたはどうしても韓忠という武将を味方にしたくなるはずです。韓忠は戦さ好きな武将ですから町や城などにいず、今もどこかの野原で戦っていることでしょう。

●呂布はつよい!!

武将の中でも5本の指に入る猛将呂布は、はじめあなたの敵として向ってきますが、これ程の武将、なんとしても味方にしたいものです。うわさではどうしても手に入れたい宝剣があるそうです。

●ゲーム中最高の軍師はダレ？

人のうわさでは諸葛孔明…。しかし彼の居場所を知る者は少ないといいます。何も孔明でなくてもいいというあなた、龐統も徐庶も周瑜も皆、超 一流の軍師ですよ!!



●五虎将軍を集めてみよう

歴史の中で、劉備軍を支えた五人の猛将たち。関羽、張飛に、黄忠、趙雲、馬超、の三人を加えて、五虎将軍といいます。もちろんこのゲームにも登場します。 早く出会いたいですね。

●在野の武将を味方にしよう

ある城の太守が倒されるとその下で働いていた武将は野に下ります(浪人します)。強い武将が欲しいなら倒した城の周りを探して歩いてみて下さい。　もしかしたらお望みの武将に会えるかもしれません。

●人の話はよくきこう

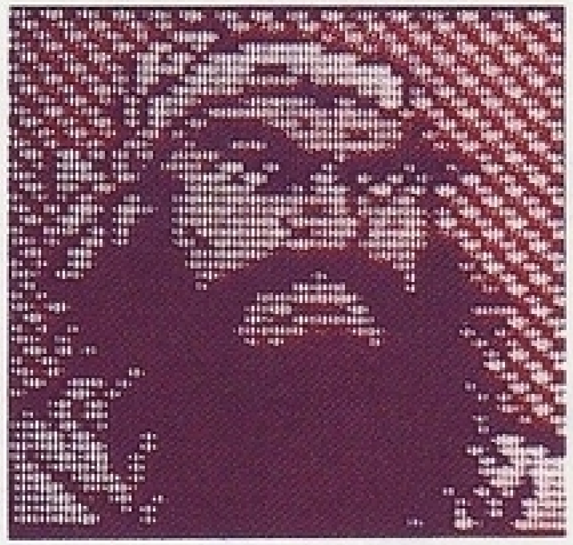
村や城では人の話をよく聞いて下さい。ゲームをすすめるための重要なヒントがかくされているはずです。

人から聞いた話は忘れないうちにメモしておくようにしましょう。

●仲間集めが漢朝復興へのカギ!!

漢朝復興への一番の早道は、有能な人材(武将)を１人でも多く劉備軍の味方にすることです。そのためには劉備軍に加わりそうな武将がいたら片っ端から味方にひき入れておくとよいでしょう。そのあと、「へんせいじょ」へ行って好きな武将を選び「たいれつ」に加えるのです。

ゲームが進んだら必ず記録(セーブ)するようにしましょう。また、その記録が消えないように10ページをよく読んで注意して下さい。



アンケートにご協力下さい。

▶カプコンではよりよいゲーム作りのために皆様からのご意見をお待ちしております。
官製ハガキに下記要領でお送り下さい。
お送り下さった中から抽選でカプコンオリジナルグッズを差し上げます。
住所・氏名・年令・職業・電話番号もお忘れなく）

①どんなタイプのゲームが好きですか？
　例）ロールプレイング、
　　　シューティングゲーム
②現在購入予定のゲームソフト名を
　上げて下さい。
③「天地を喰らう」のゲーム性、難度、
　グラフィック、サウンドについて
　どう思われましたか？
④「天地を喰らう」の不満点を
　厳しく上げて下さい。

宛先　大阪市東区大手通1-27 カプコンビル
　　　（株）カプコン
　　　「天地を喰らう」アンケート係

ご協力ありがとうございました。

発行　株式会社カプコン®
〒540 大阪市東区大手通1-27　☎06(946)6658
〒150 東京都渋谷区広尾1-3-18　☎03(440)5479